

10 本県に被害をもたらした地震

発生年月日	地震の名称	被災地域	地震の記録	被害状況
1916. 2. 22 (大正5)	浅間山北麓 (名称なし)	嬭恋村	18時12分、浅間山北麓に破壊的な地震あり	山くずれ、県道通行止め、家屋全壊7、半壊3、一部破損29
1923. 9. 1 (大正12)	関東大地震 (関東大震災)	関東各都県 静岡、山梨	11時58分、小田原付近で発生。 倒壊家屋多数あり マグニチュード7.9 前橋震度4	家屋倒壊多数。死者10万人 県内の被害 負傷9、家屋倒壊49 半壊8、一部破損多数 鉄道・通信等被害大
1931. 9. 21 (昭和6)	西埼玉地震	県内全域 (南半に大)	11時20分、埼玉県仙元山付近で発生。 高崎・渋川・五料震度6、 前橋震度5	死者5、傷者30、家屋倒壊166、半壊1,769、山くずれ・橋梁破損55、煙突倒壊155
1964. 6. 16 (昭和39)	新潟地震	利根郡 吾妻郡	13時02分、新潟県沖で発生。 マグニチュード7.5 県内各地震度4	高山村で被害多数。 負傷者1 家屋破損、道路・堤防損壊あり
1993. 5. 21 (平成5)	茨城県南西部を震源とする地震 (名称なし)	館林市 明和村 板倉町	11時36分、茨城県南西部で発生。 マグニチュード5.2 前橋震度2	館林市、明和村、板倉町で住家の一部破損37 公共建物の被害3
1995. 3. 23 (平成7)	茨城県南西部を震源とする地震 (名称なし)	板倉町	7時24分、茨城県南西部で発生。 マグニチュード4.9 前橋震度1	板倉町で住家の一部破損2
1996. 12. 21 (平成8)	茨城県南部を震源とする地震	館林・桐生・太田・前橋・高崎市 板倉・千代田 笠懸・大間々町・明和村	10時29分、茨城県南部で発生。 マグニチュード5.5 板倉震度5弱 沼田・桐生・片品震度4 前橋・富岡・吾妻等震度3	住家の一部破損46 このほか停電、鉄道運行一時見合せ、関越自動車道速度規制等あり
2004. 10. 23 (平成16)	新潟県中越地震	北橋・赤城・沼田・白沢・桐生・大間々・太田・前橋ほか	17時56分、新潟県中越地方で発生。 マグニチュード6.8 高崎・北橋・片品・白沢・昭和・沼田震度5弱	負傷者6 住家の一部損壊1,055 非住家の一部損壊35

2011. 3. 11 (平成23)	東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災)	東北地方を中心に全国	14時46分 三陸沖を震源として発生 マグニチュード9.0 (最大震度 7 宮城県) 県内最大震度 6 弱 桐生市元宿町 震度 5 強 沼田、前橋、高崎、桐生、渋川、明和、千代田、大泉、邑楽、太田 (5弱以下省略)	(県内) 死者1人、負傷者41人、住家の半壊7棟 住家の一部破損17,675棟 (平成24年9月11日(火)17時15分現在)
			3.12 03時59分 長野県北部を震源として発生 マグニチュード6.7 (最大震度 6 強 長野県) 県内最大震度 5 強 中之条町 (5弱以下省略)	

10-2 東日本大震災に係る対応の概要

東北地方太平洋沖地震に伴う災害対策本部の設置・運営

- (1) 平成23年3月11日午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖地震により、県内では最大震度6弱（桐生市元宿町）を観測したことから、県地域防災計画に基づき県災害対策本部（本部長：知事）を設置し、県内被害状況の収集、応急復旧対応に当たった。（その後、平成23年3月12日17:25に災害警戒本部（本部長：危機管理監）に移行した。）

県対策本部会議開催等の状況

平成23年3月11日	14:55	県災害対策部設置
	15:00	第1回災害対策本部会議
	17:00	第2回災害対策本部会議
	18:30	第3回災害対策本部会議
3月12日	16:00	第4回災害対策本部会議
	17:25	県災害警戒本部（本部長：危機管理監）へ移行。
3月14日	10:00	第1回災害警戒本部会議
3月15日	14:00	第2回災害警戒本部会議
3月15日	14:00	第2回災害警戒本部会議
平成24年3月12日	17:15	災害警戒本部廃止

なお、平成23年3月14日10:00には、群馬県東北地方太平洋沖地震支援本部（本部長：知事、事務局：総務部総務課）が設置された。

- (2) 1年が経過し、震度4以上の余震について、県外では依然として続いているものの県内では平成23年5月以降10ヶ月以上継続して観測されていないことから、平成24年3月12日17:15に、災害警戒本部を廃止した。

1 1 浅間山噴火の歴史（昭和～平成）

年 月 日	被害地域	噴 火 の 記 録	被 害 状 況
昭和3年(1928) 2月23日	浅間山周辺	16時45分大音響と共に爆発し、噴煙は東北東に流れ二度上附近では4～5分間にわたり大なるものは径6、7寸の降石あり(坪当り4～5個)灰砂礫は坪当り4升あった。	長野原町二度上附近、噴石による家屋の被害多く負傷者1名を出す。 (浅間山爆発史集)
昭和4年(1929) 9月18日	"	1時 9分大音響と共に爆発し噴煙は南東に流れる。噴出溶岩は方半里に落下。	軽井沢追分附近等戸障子の落下挫折、ガラス破損等かなりあり。 (浅間山爆発史集)
昭和10年(1935) 4月20日 5月 5日 22日 28日	"	16時21分大音響にて爆発、石樽山附近山火事、藤岡、富岡方面降灰活動活発にて噴煙本県側に流れて降灰量多し 5月 5日前橋にて89gr/m ² 、5月22日69gr/m ² 、28日坪当り1合5勺、11月 7日藤岡にて40gr/m ²	国有林に延焼。追分附近ガラス破損あり (浅間山爆発史集) 降灰により桑、野菜に被害。(浅間山爆発史集)
昭和11年(1936) 3月～9月	"	9時33分噴火	噴出岩石のため3名の登山者中1名足を折り死亡 (浅間山爆発史集)
昭和13年(1939) 3月～9月	"	3月25日の爆発以来頻繁に爆発し降灰多し。9月26日山火事おこる。	農作物に被害あり。 (浅間山爆発史集)
昭和22年(1947) 8月14日	"	12時17分砲声音をたて爆発、山頂附近噴石落下し、また西側湯の平で山火事がおきる。	登山者11名落石で死亡、爆風で窓ガラスの破損あり (浅間山爆発史集)
昭和25年(1950) 9月23日	"	14時37分大爆音と共に噴火。噴火噴煙は、6,000mの高さに上り3km以内に火山弾が落下した。噴煙は東南東に流れ降灰は宇都宮、東京におよんだ。県内では赤城山以南の各地に降灰し量が多かった。	軽井沢附近窓ガラスの破損多く壁の落ちたものあり 登山者 1名 死亡 6名 負傷 (浅間山爆発史集) (気 象 要 覧)
昭和33年(1958) 11月10日	"	22時50分大爆発と共に大噴火。噴煙は、高度7,000mに達して東方に流れた。火山弾は3～4kmとび、風に流されたものは、東北東9kmの地点までとんだ。降灰は浅間山と沼田・藤田の線内であり、遠く太平洋まで続いた。	爆風によるガラスの破損被害は16kmの地点にまでおよび次の被害があった。 被害戸数 2,305戸 ガラス破損 28,154枚 壁の破損 50坪 戸障子の被害 2,509枚 (浅間山爆発史集)
昭和34年(1959) 4月14日	"	20時30分大爆発 噴煙は高度7,000mに達し南東に流れた。火山弾は南側に多く、3.6kmに達した。降灰は東京・横浜にまで達した。	火山弾により山火事が発生し国有林61ヘクタールを焼失した。 (浅間山爆発史集)
昭和36年(1961) 8月18日	"	14時42分中爆発 噴煙は高度7,000mに達して南東に流れ軽井沢附近も2cmの礫が降った。	登山者1名行方不明 火山礫、砂灰のため農作物に被害。 (浅間山爆発史集)

年 月 日	被害地域	噴 火 の 記 録	被 害 状 況
昭和48年(1973) 2月1日	〃	19時20分中爆発 暗夜のため噴煙高度不明だが、火炎は500mに達した。 噴煙は東南東に流れ東側にこぼし大の火山弾、小石等が降り降灰は土浦、銚子に及ぶ。	空振及び噴石により、千ヶ滝附近の屋根、ガラス等の破損が相当あり。 (浅間山爆発史集)
昭和57年(1982) 4月26日	富岡市、甘楽郡全域、万場町・中里村・上野村・鬼石町	2時25分噴火、引き続き微噴火が継続し6時40におさまる。噴煙の高さ500mに達する。小規模の火砕流あり。 降灰は左記地域のほか埼玉、東京千葉に及ぶ。	降灰により県内左記地域の「しいたけ」に被害が生じた。 (日本活火山総覧第2版)
昭和57年(1982) 10月2日		9時58分微噴火 浅間牧場及び浅間園附近に降灰	被害は特になし。 (日本活火山総覧第2版)
昭和58年(1983) 4月8日		1時59分中噴火、爆発音、空振を伴う。浅間山の周辺には火山礫が降り、山腹の一部で山火が発生した。 降灰は長野県、群馬県、関東北部、福島県で観測された。	被害は特になし。 (日本活火山総覧第2版)
平成2年(1990) 7月20日		6時25分微噴火。 狭い範囲で微量の降灰。	被害は特になし。 (日本活火山総覧第2版)
平成15年(2003) 2月6日		12時01分極小規模噴火。少量の有色噴煙が火口縁上300mまで上がり、火口南東の斜面に微量の降灰。	被害は特になし。
平成15年(2003) 3月30日		1時54分頃極小規模噴火。少量の有色噴煙が火口縁上300mまで上がる。火口南東の斜面に微量の降灰。	被害は特になし。
平成15年(2003) 4月7日		9時24分頃極小規模噴火。少量の有色噴煙が火口縁上200mまで上がる。	被害は特になし。
平成15年(2003) 4月18日		7時32分頃極小規模噴火。少量の有色噴煙が火口縁上300mまで上がる。	被害は特になし。
平成16年(2004) 9月1日	長野原町・嬬恋村・片品村・吾妻町	中爆発。噴煙の高さは雲のため不明。気象レーダーにより3,500m～5,500mで北東に流れたと推定。軽井沢測候所で大きな爆発音と空振(205ハズル)を観測。火口周辺に直径3～4mの噴石、火口の北東6km付近に3cm程度の火山礫降下。北東方向の群馬県嬬恋村をはじめ、群馬県・栃木県・福島県の一部に降灰。	非住家2棟ガラス破損(空振によるもの) 降灰によるキャベツ等の農業被害 国道146号、県道ほか一部降灰による通行規制
平成16年(2004) 9月14日		小噴火。灰色の有色噴煙が2,500mまで上がり東に流れる。噴石、火山礫の降下は、火口周辺以外では特に確認されなかった。東南東方向の長野県軽井沢町、群馬県松井田町・安中市等に降灰。	被害は特になし

年 月 日	被害地域	噴 火 の 記 録	被 害 状 況
平成16年(2004) 9月15日 ～ 9月18日		小噴火が頻発。噴煙の高さは、最高1,500mまで上がり南～南東に流れる。火口周辺に噴石が間欠的に飛散。東方向の長野県軽井沢町をはじめ、関東地方南部（埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県）の一部に降灰。	被害は特になし
平成16年(2004) 9月23日	長野原町・ 嬭恋村	中爆発。噴煙の高さは、雲のため不明。中程度の爆発音と空振(72パスカ)を観測。火口の北北東4km付近に3cm程度の火山礫降下。北～北東方向の群馬県嬭恋村・長野原町をはじめ、新潟県・山形県の一部に降灰。爆発地震により軽井沢町追分及び御代田町御代田で震度1を観測。	降灰によるキャベツ等の農業被害 町道、浅間白根火山ルート一部降灰による通行規制
平成16年(2004) 9月29日	嬭恋村・六 合村・草津 町	中爆発。噴煙の高さは、雲のため不明。軽井沢測候所で弱い爆発音と空振(29パスカ)を観測。火口の北4km付近に4cm程度の火山礫降下。北～北東方向の群馬県嬭恋村・長野原町・草津町等に降灰。爆発地震により御代田町御代田で震度1を観測。	降灰によるキャベツ等の農業被害
平成16年(2004) 10月10日		小爆発。噴煙の高さは、雲のため不明。軽井沢測候所で空振(18パスカ)を観測。火口の北北東4km付近に2cm程度の火山礫降下。北北東方向の群馬県嬭恋村・長野原町に降灰。	被害は特になし
平成16年(2004) 11月14日		中爆発。噴煙の高さは雲のため不明。気象レーダーにより3,500～5,500mまで上がったと推定。大きな爆発音と中程度の空振(73パスカ)を観測。火口の東北東4km付近に4～5cm、東～北東4km付近に3cm程度の火山礫降下。東～東北東方向の長野県軽井沢町、群馬県嬭恋町をはじめ、関東地方北部（群馬県・栃木県）の一部に降灰。	被害は特になし
平成20年(2008) 8月10日		2時37分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は南東方向。	被害は特になし
平成20年(2008) 8月11日		20時5分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは200m。流向は南方向。	被害は特になし
平成20年(2008) 8月14日		7時59分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は南東方向。	被害は特になし

年 月 日	被害地域	噴 火 の 記 録	被 害 状 況
平成21年(2009) 2月 2日		1時51分頃～8時頃、小噴火発生。噴煙の高さは、最高2,000mまで上がり南東に流れる。火口から約1kmに弾道を描いて飛散する大きな噴石が飛散。降灰は県内においては富岡市、藤岡市、安中市、下仁田町、甘楽町で確認され、県外においては関東地方南部まで確認(埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県)の一部に降灰。	町道、鬼押しハイウェイ一部降灰による通行規制 2月1日13:40規制開始 2月3日10:00規制解除 富岡市、下仁田町で農作物被害(ホウレンソウ、コマツナ、ブロッコリー、ネギ)
平成21年(2009) 2月 9日		6時34分頃～10時15分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400mで流向は東方向。軽井沢の一部の地域で微量の降灰を確認。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月 9日～ 2月12日		9日11時30分頃～12日8時頃、小噴火が頻発。9日17時10分頃には火口縁上の噴煙の高さは1,000mで流向は北東方向。10日4時50分頃には火口縁上の噴煙の高さは1,400mで流向は南東方向。11日2時50分頃には火口縁上の噴煙高さは1,000mで流向は東方向。軽井沢町の一部で微量の降灰を確認。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月12日		16時51分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは300mで流向は南東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月12日		18時7分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400mで流向は南東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月12日		21時2分頃～22時12分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは500m。流向は南東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月16日		13時頃～14時頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月16日		16時35分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは雲のため不明。東京大学浅間山観測所で微量の降灰を確認。	被害は特になし
平成21年(2009) 2月17日		18時33分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 3月15日		23時48分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは200m。流向は東方向。	被害は特になし

年 月 日	被害地域	噴 火 の 記 録	被 害 状 況
平成21年(2009) 4月14日		7時32分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は北東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 4月30日		20時2分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは500m。流向は北東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 5月 3日		3時20分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は北東方向。	被害は特になし
平成21年(2009) 5月27日		1時41分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは600m。流向は直上方向。	被害は特になし